

まともに生活できる仕事を 人間らしく働きたい

政府は真剣に
取り組んでください

働く青年の5人に一人が年収150万円以下で、まじめに働いても生活がなりたない「ワーキング・プア」が社会の大問題になっています。また、3人に1人が非正規の不安定な雇用のもとにおかれ、青年の失業率も他の世代の2倍近くにのぼります。働く現場では、残業代が支払われない「サービス残業」が横行し、いわゆる「偽装請負」や不当な解雇、有給休暇が取れない、社会保険に加入できないなど、さまざまな違法・脱法が横行しています。

こうした問題の原因は、青年の雇用を減らし、非正規化をすすめてきた大企業と、「構造改革」の名のもとに、規制緩和などでそれを応援してきた政治にあります。青年が人間らしく働き、将来への希望がもてる社会をつくるために、以下の項目に政府が責任を持って取り組むことを求めます。

【請願項目】

① 政府の責任で雇用を増やしてください

- ◆ 政府は、不安定な非正規雇用を拡大する政策をあらためてください。
- ◆ 「サービス残業」「過密労働」をなくし、労働時間を短縮して、青年の雇用を増やしてください。
- ◆ 医療・福祉・教育など国民生活に必要な分野での人手不足を解決してください。

② 人間らしく働くために必要なルールを 大企業に守らせてください。 さらなる規制緩和をやめてください

- ◆ 賃金未払い、社会保険への未加入、有給休暇をとらない、不当解雇や「偽装請負」など、企業の違法行為の是正を強めてください。
- ◆ 働く権利を保障し、専門官が配置された青年の相談窓口をつくるなどの対策をとってください。
- ◆ 労働者の権利を紹介するパンフレットの配布など、働くルールを知らせるとりくみを強めてください。
- ◆ 残業代未払いを合法化したり、解雇の金銭的解決に道をひらく労働法制の改悪をしないでください。

サービス残業なくせば
新しい雇用がうまれる

161万人

(第一生命経済研究所調べ)

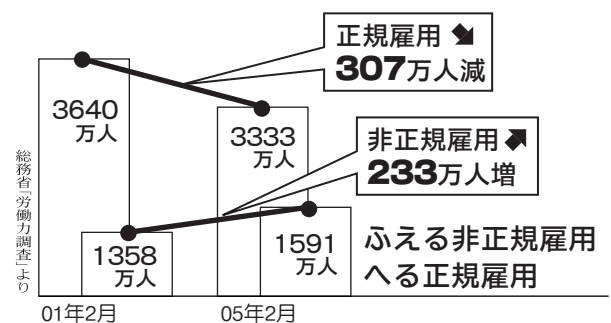
青年の失業者は136万人(2005年7月)
15～24歳 54万人 | 25～34歳 82万人

③ 正規と非正規労働者の均等待遇と、 安定した雇用を求めます

- ◆ 正規と非正規の賃金や労働条件の格差を是正してください。
- ◆ 青年が自立して暮らせるように、最低賃金の大幅な引き上げをもとめます。
- ◆ 正社員の中途採用を拡大し、現に派遣やアルバイトで働く青年から優先的に採用する制度を整えてください。

④ これから働く青年への支援を 強めてください

- ◆ 青年の職業紹介と職業訓練を抜本的に充実してください。
- ◆ 生活保障付きの職業訓練、奨学金の返還免除など、仕事探しをサポートしてください。
- ◆ 学生が学業と就職活動を両立できるようルールをつくってください。
- ◆ 学校教育のなかで、憲法・労働基準法の学習をすすめてください。



氏 名	住 所